

ベストポスター賞の受賞の言葉

神奈川大学工学部経営工学科 金子良太

このたびはベストポスター賞という素晴らしい賞をいただくことができ本当に嬉しく思います。そして審査にあられた先生方を含め、学会関係者の方々、大会参加者の方々に深く感謝致します。

今大会は、「人・技術・環境、求められる共生 - シンギュラリティの再考 -」というテーマであり、人などの様々な分野と情報システムの「共生」を掲げていることから「個人の歩行特性データと位置情報を用いた目的地までの所要時間予測」という題名で発表をさせていただきました。本論文は、目的地までの所要時間を、個人の日常生活の歩行履歴情報から利用者の歩行能力に応じて柔軟かつ正確に予測し歩行を管理するシステムです。具体的には、GPS ロガーを用いて歩行実験を行い、データを収集した上で歩行時間予測式を導きだし、EVM を用いて歩行状況を確認・管理できるシステムを作成することを目的としています。

近年では、iPhone や Android などのスマートフォンの普及により、歩行ナビゲーションサービスの利用が増加しています。歩行ナビゲーションサービスでは、スマートフォンのGPS 機能を利用して、位置情報を測位することによって、ユーザの現在位置に応じたナビゲーションを可能にしています。これにより、目的地までの詳細なルートナビゲーションが可能となり、行ったことのない場所に行く際などに必要不可欠なツールになっています。しかし、利用者個人の歩行速度に対応しておらず誤差が少なからず生じていることや、坂道の表記がなく道路状況が分からないことなどが欠点としてあることから、本研究を行っています。

今後は EVM の基本データを算出をして、歩行状況を確認・管理できるシステムの完成を目指します。将来的はこのシステムを自動車のナビゲーションシステムに組み込むことや、歩行のスピードが普段より平均的に遅くなってしまっているなどの判断基準から体調が悪くなっているなどの健康管理にも応用できるのではないかと考えています。今回ベストポスター賞を頂き、「人・技術・環境、求められる共生 - シンギュラリティの再考 -」というテーマについてさらに今後は深く考えていき、研究に取り組んでいきたいと思えます。

ベストポスター賞に選んでいただき本当にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。